

文英堂『古典探究』（古探712）年間指導計画（シラバス）案

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
古文編（第一部）					
1 古文に親しむ	1	『沙石集』児の飴食ひたること ● 古文と現代文の違い・仮名遣いの違いを理解する。 ● 時代を超えて伝わる説話の魅力を味わう。	○ 歴史的仮名遣いを復習し、文意をつかむことを通して古文に慣れる。 ◎ この話の後の坊主の行動を想像し、話し合う。	【知】 古文の基礎事項を理解している。 [(1)ア・イ・ウ (2)イ] 【思】 本文の内容を理解している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『宇治拾遺物語』猿沢の池の竜の事 ● 登場人物の動きや心理、内容の面白さを読み取る。 ● 本話を題材とした「竜」と読み比べる。	○ 登場人物と出来事を把握する。 ◎ 芥川龍之介「竜」と読み比べ、それぞれの特徴を整理する。	【知】 古文の基礎事項を理解している。 [(1)ア・イ・ウ (2)イ] 【思】 出来事に沿って作中人物の言動を把握している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・キ・ク] 【思】 「竜」と読み比べ、相違点や類似点を把握している。 [A(2)イ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『十訓抄』大江山 ● 登場人物の動きや心理、内容の面白さを読み取る。 ● 和歌の表現技法について復習する。	○ 登場人物と出来事を把握する。 ○ 「大江山」の歌に用いられている修辞を把握する。 ◎ 定頼中納言の心中を話し合う。	【知】 和歌の修辞を理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)イ] 【思】 出来事に沿って作中人物の言動を把握している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	言語活動「くずし字を読んでみよう」 ● 仮名のもとになった漢字を考えながらくずし字を解説し、変体仮名に親しむ。	○ 変体仮名について、巻末の一覧などを参考に、もとになった漢字を考える。 ◎ 変体仮名のカルタを読んでもみる。身近なくずし字の例を探してみる。	【思】 変体仮名の成り立ちについて、自分で考えたり調べたりしている。 [A(2)オ]	行動観察 記述の確認
2 ものの伝え方	4	『伊勢物語』初冠・梓弓・渚の院・つひにゆく道 ● 和歌を踏まえて、登場人物の心情を理解する。 ● 他の章段などと読み比べて、深く物語を味わう。	○ 『伊勢物語』についての知識を復習し、定着する。 ○ 歌物語への理解を深め、和歌を訳読、鑑賞する。 ○ 和歌に表現された人物の思いを把握し、それを踏まえて物語展開を理解する。 ◎ 和歌が詠まれる場や和歌に対する語り手の評言に着目し、和歌について話し合う。	【知】 『伊勢物語』の内容、特徴について理解している。 [(1)イ・ウ・エ (2)エ] 【知】 歌物語の特徴を把握し、和歌を理解、鑑賞している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・エ] 【思】 自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(1)ア・イ・ウ・オ・キ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
と 読 み 取 る	1	『大和物語』 姨捨 ●物語の展開を読み取り、全体のストーリーを理解する。 ●和歌を踏まえて、そこに表現された人物の心情を読み取る。	○『大和物語』について知識を整理する。 ○和歌に表現された人物の思いを把握し、それを踏まえて物語展開を理解する。 ◎和歌をもとに物語を作り、発表する。 ◎『今昔物語集』『檜山節考』など他の棄老説話を読み、類似と差異、興味深く思った点について報告する。	【知】『大和物語』の内容、特徴について理解している。 [(1)イ・ウ・エ (2)エ] 【知】物語の展開を把握するとともに、この物語の後世への影響を理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・エ] 【思】自らの思いを表現し、発表している。 [A(1)ア・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『土佐日記』 阿倍仲麻呂 ●和歌と和歌をめぐる物語の展開を正しく読み取る。 ●和歌に対する当時の人々の思いを理解する。	○『土佐日記』についての知識を復習し、定着する。 ○和歌を訳読、鑑賞するとともに、それを踏まえて話の展開を把握する。 ◎和歌と月の関係性について話し合う。	【知】『土佐日記』の内容、特徴について理解している。 [(1)イ・ウ・エ (2)エ] 【知】和歌を理解し、そこに表れた登場人物の心情を把握している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・エ] 【思】自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(1)ア・イ・ウ・オ・キ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査
思 い を 読 み 取 る	3	『更級日記』 あづま路の道の果て・源氏の五十余巻 ●『更級日記』についての基礎知識を持つ。 ●回想記録としての日記の特徴を学び、作者が晩年に少女時代の自分自身を振り返って記述していることを理解する。	○『更級日記』の作品の特色について知識を整理する。 ○作者の心情の変化を読み取る。 ○晩年の作者が少女時代の自分をどう捉えているか理解する。 ◎物語を読みたいと熱望する作者と、現代の自分たちと異なる点、共通点について話し合う。	【知】『更級日記』の内容と作者について理解している。 [(1)ア・イ・ウ (2)ア・イ・エ] 【思】作者の心情を読み取っている。 [A(1)ア・ウ・エ・オ・キ] 【思】自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(2)ア・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	4	『源氏物語』 桐壺・若紫 ●『源氏物語』について、基礎知識を持ち、文学史的な意義を理解する。 ●作り物語としての特徴を理解し、光源氏や、若紫という主要人物像を把握する。 ●登場人物の心情を読み取り、理解する。	○『源氏物語』の特色についての知識を整理する。 ○長大な物語の中での「桐壺」「若紫」の位置を把握する。 ○登場人物の言動と心情を読み取り、作品の展開を理解する。 ◎『源氏物語』の優れた表現について見解を話し合う。	【知】『源氏物語』の内容と作者について理解している。 [(1)ア・イ・ウ (2)ア・イ・エ] 【思】登場人物の心情を読み取っている。 [A(1)ア・イ・エ・カ・ク] 【思】自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(2)ア]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
	1	言語活動「古典の英訳を読んでみよう」 ● 翻訳について考察する。	○ 日本の古典を英訳した文章を、古典の本文と比較する。 ◎ 翻訳するためにどのような工夫が必要か考え、発表する。	【知】日本の古典文学が英訳されている状況を知る。 [(2)ア] 【思】自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(2)オ]	行動観察 記述の確認
見 方 ・ 考 え 方 を 広 げ る	4	『徒然草』世に語り伝ふること・大事を 思ひたたん人は・あだし野の露・春の暮 つた ● 本文に即して、作者の考えを読み取る。 ● 作者の考えを踏まえて、自分の考え方を深める。	○ 本文の内容を読み取る。 ◎ 作者の考えを整理し、それに対する意見を交換する。	【知】古文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ] 【思】作者の考えを正確に読み取り、自身の考えを深めている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査
	3	『方丈記』ゆく河の流れ・日野山の閑 居・大地震 ● 作者と作品についての基礎知識を持つ。 ● 本文の内容や書かれた時代背景について理解を深める。 ● 作者の人生についての思索、生き方についての考えに触れ、自身の考えを深める。	○ 『方丈記』、鴨長明について基礎知識を確認する。 ○ 本文の内容を読み取る。 ◎ 作者の考えを整理し、それに対する意見を交換する。	【知】古文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)イ] 【思】作者の考えを正確に読み取り、自身の考えを深めている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	言語活動「ハザードマップを調べてみよう」 ● 住んでいる地域にどのような災害の危険性があるのかを調べ、災害時の対応を考える。	○ 「大地震」の作者の問題提起について考える。 ◎ 地域ごとにグループになり、災害の危険性を調べ、対応を話し合う。	【思】ハザードマップを調べ、災害時の対応を話し合うことができている。 [A(2)ア・オ]	行動観察 記述の確認

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
5 人間関係を 読み取る	4	『平家物語』忠度の都落ち・能登殿の最期 ●『平家物語』についての基礎知識を持つ。 ●登場人物の行動と心情を読み取り、それぞれの人物像を理解する。	○『平家物語』の作品の特徴について知識を整理する。 ○登場人物の言動と心情を読み取り、作品の展開を理解する。 ◎語り手の評語を手がかりとして、この章段がどのように位置づけられているかを話し合い、発表する。 ◎物語で語られている登場人物の人物像について、根拠を明確にしながら話し合い、発表する。	【知】『平家物語』の内容と特徴について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)イ] 【思】人物の心情とできごとを的確にとらえている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ] 【思】人物の心情を読み取り、感じたこと考えたことをまとめている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『建礼門院右京大夫集』なべて世の中のはかなきことを ●『建礼門院右京大夫集』についての基礎知識を持つ。 ●和歌に込められた作者の心情を読み取る。	○『建礼門院右京大夫集』の作品成立の背景を学ぶ。 ○地の文から、作者の心情や状態を表す表現を抜き出し、心情の変化を把握する。 ◎和歌に込められた作者の思いを話し合い、発表する。	【知】作者の心情を捉えて詞書を読み取り、それを踏まえて和歌を解釈している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)イ] 【思】本文にあらわれたものの見方考え方について考察を深めている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査
6 文化について 考える	2	和歌一春の歌十四首 ●和歌を音読し、韻律の美しさを味わう。 ●和歌表現の特色を理解し、そこに詠まれた心情・情景を読み味わう。 ●和歌の鑑賞を通して、解釈や自分の考えを広げたり深めたりする。	○和歌を音読する。 ○表現の特色や修辞技法を理解する。 ○和歌に詠まれた心情・情景を読み味わう。 ◎学習した中から歌を一首選び、鑑賞文を書く。	【知】和歌のリズムや言葉の響きについて理解を深めている。 [(1)エ] 【知】和歌表現の特色や修辞技法について理解を深めている。 [(1)イ・エ] 【思】和歌に詠まれている心情や情景を読み取っている。 [A(1)イ・エ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	言語活動「題詠の歌をつくってみよう」 ●五・七・五・七・七の定型に親しみ、伝統的な和歌表現を理解する。	○伝統的な和歌表現と題詠について理解する。 ◎題詠の歌を作り、批評し合う。	【知】伝統的な和歌表現と題詠について理解を深めている。 [(1)エ] 【思】題詠の歌を作り、その表現などについて批評している。 [A(1)ウ]	行動観察 記述の確認

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
	1	『沙石集』歌故に命失ふ事 ●『沙石集』の特徴や歌合について理解を深める。 ●話の内容や作者の考えを読み取る。 ●和歌表現の特色などをおさえ、内容を解釈したうえで評価する。	○『沙石集』の特徴や歌合についての基礎知識を理解する。 ○話の展開や登場人物の心情を捉え、作者の考えを読み取る。 ◎歌合の判者の立場になって、「恋すてふ」「つめども」の歌の優劣を判定する。	【知】『沙石集』の特徴や歌合、和歌の修辞について理解を深めている。[(1)イ・エ (2)イ] 【思】『沙石集』の内容や作者の考えを的確に捉えている。[A(1)ア・イ] 【思】和歌を解釈して読み比べることを通して、表現の特色について評価している。[A(1)ウ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『今物語』花の白川 ●登場人物の行動や考え方、話の展開を的確に読み取る。 ●法師の詠んだ連歌の優れている点について理解する。 ●話の内容を自分の知見と結び付け、考えを深める。	○『今物語』の特徴や連歌についての知識を確認する。 ○登場人物の言動や考え方、話の展開について、整理しながら理解する。 ○法師の詠んだ連歌の優れている点について話し合う。 ◎『今物語』の内容を新聞記事に書き換える。	【知】『今物語』の特徴や内容について理解を深めている。[(1)ア・イ] 【知】連歌やその表現の特色などについて理解を深めている。[(1)イ・エ] 【思】登場人物の行動や考え方、及び話の展開を的確に捉えている。[A(1)ア・イ] 【思】法師の詠んだ連歌の内容を解釈し、優れている点を的確に捉えている。[A(1)イ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『和漢朗詠集』秋夜・十五夜 ●『和漢朗詠集』についての基礎知識を持つ。 ●漢詩句や和歌を音読し、リズムに親しみを持つ。 ●漢詩句や和歌の表現の特色を理解し、内容を的確に読み取る。	○『和漢朗詠集』についての基礎知識を理解する。 ○漢詩句や和歌を音読する。 ○漢詩句や和歌に詠まれた心情を読み取る。 ◎『和漢朗詠集』がその後の文学に与えた影響について調べる。	【知】『和漢朗詠集』の特徴やその影響について理解を深めている。[(1)イ (2)ア] 【知】漢詩句や和歌のリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。[(1)エ] 【思】漢詩句や和歌の表現の特色を踏まえ、内容を的確に読み取っている。[A(1)イ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	歌謡『梁塵秘抄』『閑吟集』 ●『梁塵秘抄』、『閑吟集』や歌謡についての基礎知識を持つ。 ●歌謡のリズムや言葉の響きに親しみを持つ。 ●歌謡に詠まれた心情を読み味わう。	○『梁塵秘抄』、『閑吟集』や歌謡についての基礎知識を理解する。 ○句数や音数律に留意して、歌謡を音読する。 ○歌謡における表現の特色を踏まえ、そこに詠まれている心情を読み取る。 ◎学習した歌謡の中から好きなものを一つ選んで翻案し、現代語で表す。	【知】歌謡のリズムや、同じ語句の繰り返しによる言葉の響きについて理解を深めている。[(1)エ] 【知】『梁塵秘抄』、『閑吟集』の特徴や歌謡について理解を深めている。[(1)イ (2)ア] 【思】歌謡における表現の特色を踏まえ、そこに詠まれている心情を的確に読み取っている。[A(1)イ] 【思】歌謡の内容を捉え直し、自分自身に結び付けてより解釈を深めている。[A(1)オ]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
7 社会 に対する 考えを 深める	2	『雨月物語』 浅茅が宿 ● 作者と作品についての基礎知識を持つ。 ● 原話との共通点・相違点を理解する。 ● 典拠が利用されることの意味を理解する。 ● 登場人物の心情を読み取り、理解する。	○ 原話と作品を比較する。 ○ 登場人物の心情を読み取り、作品の展開を理解する。 ◎ 登場人物の言動についての理解を話し合う。	【知】 『雨月物語』の内容と作者について理解している。 [(1)ア・エ (2)ア・イ・エ] 【思】 自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(1)ア・イ・エ・カ・キ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『曾根崎心中』 道行 ● 作者と作品についての基礎知識を持つ。 ● 浄瑠璃の文体について理解する。 ● 登場人物の心情を読み取り、理解する。	○ 情景描写の効果を理解する。 ○ 登場人物の心情を読み取り、作品の展開を理解する。 ◎ 演劇であるがゆえの、文章の工夫について話し合う。	【知】 『曾根崎心中』の内容と作者について理解している。 [(1)イ・エ (2)ア・ウ] 【思】 自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(1)イ・ウ・カ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	『日本永代蔵』 世界の貸屋大将 ● 作者と作品についての基礎知識を持つ。 ● 作品の諧謔性を読み取り、内容を理解する。	○ 藤市の行動を整理する。 ○ 藤市の発言の意図を正しく把握し、作品の展開を理解する。 ◎ 藤市はどのような人物として描かれているか、話し合う。	【知】 『日本永代蔵』の内容と作者について理解している。 [(1)イ・ウ (2)ア・ウ・エ] 【思】 自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(1)ア・ウ・エ・カ]	行動観察 記述の確認

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
古文編（第二部）					
1 古文を味わう	3	『宇治拾遺物語』夢を買ふ人の事・清水寺御帳賜る女の事 ● 当時の人々の夢に対する認識、観音靈驗譚を読み取る。 ● 当時と現代の夢に対する認識の相違を探る。	○ 登場人物の行動、心情を把握する。 ○ 観音靈驗譚について、 ◎ 当時と現代との夢に対する考え方の相違を話し合う。	【知】 観音靈驗譚について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)イ・ウ] 【思】 登場人物の行動や心情を把握している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ] 【思】 作品の理解を深め、自分なりの考えを持っている。 [A(1)カ・キ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査
2 先人の世界を理解する	4	『枕草子』宮に初めて参りたるころ・中納言参りたまひて・村上の上の先帝の御時に・この草子 ● 『枕草子』についての基礎知識を確認する。 ● 登場人物の心情を読み取り、理解するとともに、なぜそのような記述が成されているのかを考える。 ● 言葉遊びや言葉を使った機知の面白さを理解する。	○ 『枕草子』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○ 登場人物の言動から、その心情を読み取り、作者の意図をとらえる。 ◎ 『枕草子』独自の文章スタイルをふまえて、その構成や表現の特色を話し合う。	【知】 『枕草子』の内容と構成について理解している。 [(1)イ・エ (2)ア・エ] 【思】 『枕草子』作者の考えや記述の意図を理解し、他者と共有している。 [A(1)ア・イ・ウ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『紫式部日記』土御門殿の秋 ● 『紫式部日記』について作品情報を理解している。 ● 自然描写や心情説明に使用されている語句の意味や用法を理解し、表現の特徴を読み取っている。 ● 彰子に対する作者の心情を理解している。	○ 『紫式部日記』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○ 自然描写における表現の独自性を理解する。 ◎ 作者の心情の二面性を話し合う。	【知】 『紫式部日記』の表現の特徴を理解している。 [(1)ア・イ (2)エ] 【思】 『紫式部日記』作者の心情を理解し、その表現の特徴を評価する。 [A(1)ウ・カ]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
	1	『蜻蛉日記』嘆きつつ ●『蜻蛉日記』について作品情報を理解している。 ●和歌の修辞を理解している。 ●和歌のやりとりから詠者の心情を想像し、その変化を読み取っている。	○『蜻蛉日記』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○登場人物の言動（和歌を含む）から、その心情を読み取る。 ◎作者の夫に対する心情の推移を場面ごとに説明できる。	【知】『蜻蛉日記』の表現の特徴と和歌の修辞を理解している。[(1)ア・イ・エ (2)イ] 【思】『蜻蛉日記』作者の夫への心情表現の意図を捉える。[A(1)ウ・オ・カ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『和泉式部日記』薫る香に ●『和泉式部日記』について作品情報を理解している。 ●和歌の修辞を理解している。 ●和歌のやりとりと本文の読解を通して、登場人物の心情を想像し、読み取っている。	○『和泉式部日記』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○和歌の解釈をふまえて、登場人物の心情とその変化を理解する。 ◎末尾の作者の和歌について、この和歌を贈られた後の、帥の宮の心情を話し合う。	【知】『和泉式部日記』の表現の特徴と和歌の修辞を理解している。[(1)ア・イ・エ (2)イ] 【思】『和泉式部日記』作者と帥の宮の贈答歌の表現の特徴と、二人の心情を理解する。[A(1)ウ・オ・カ]	行動観察 記述の確認 定期考査
3 も の の 伝 え 方 を 読 み 解 く	6	『大鏡』雲林院の菩提講・道真の左遷・花山院の出家・南院の競射 ●『大鏡』について、基礎知識を持ち、文学史的な意義を理解する。 ●歴史物語としての特徴を理解し、登場人物の持つ役割を把握する。 ●歴史上の人物でもある登場人物の心情を読み取り、理解する。 ●作品での描き方の特徴を理解する。	○『大鏡』の特色についての知識を整理する。 ○『大鏡』という物語の構造について理解する。 ○登場人物の言動と心情を読み取る。 ◎同一場面を扱った『大鏡』と『栄花物語』を比較し、描かれ方の違いについて話し合う。	【知】『大鏡』の内容について理解している。[(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・エ] 【思】他の作品との関係を踏まえて、登場人物の言動や心情を読み取っている。[A(1)ア・イ・エ・オ・カ・キ・ク] 【思】自分の意見を表現し、話し合っている。[A(2)ア・イ]	行動観察 記述の確認 定期考査



単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
4 人の 生き 方を 読み 取る	8	<p>『源氏物語』葵・須磨・明石・御法</p> <p>●『源氏物語』の各巻についてと全体の構成について把握する。</p> <p>●登場人物の心情を読み取り、理解する。</p> <p>●古典や故事の引用や視覚的・聴覚的描写の効果を把握する。</p> <p>●『源氏物語』における、長編物語としての構成の巧みさと、光源氏の生涯とその苦悩を把握する。</p>	<p>○『源氏物語』についての知識を整理する。</p> <p>○登場人物の言動と心情を読み取り、物語の構成を理解する。</p> <p>○引用されている古典や故事、描写の効果を理解する。</p> <p>◎登場人物の心情や表現の効果について話し合い、意見を出し合う。</p>	<p>【知】『源氏物語』について理解し、各場面で用いられた表現の効果を理解している。[(1)ア・イ・ウ・エ(2)イ・ウ]</p> <p>【思】『源氏物語』の各場面と物語全体の構成を理解している。[A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]</p>	行動観察 記述の確認 定期考査
5 自 分 の 生 き 方 を 考 え る	4	<p>『奥の細道』発句選・最上川</p> <p>●季語や切れ字に注意しながら、発句に込められた情景・心情を読み取る。</p> <p>●「みちのくの風流」を巡る旅に対する芭蕉の感慨を読み取る。</p>	<p>○『奥の細道』作中の発句を読み味わう。</p> <p>○芭蕉の「このたびの風流ここにいたれり。」という感慨を読み取る。</p> <p>◎『曾良旅日記』と読み比べ、気がついたことを話し合う。</p>	<p>【知】季語や切れ字などの発句の修辞を理解している。[(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ]</p> <p>【思】発句に込められた芭蕉の思いを読み取っている。[A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]</p>	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	<p>言語活動「『奥の細道』の行程をたどろう」</p> <p>●『奥の細道』の旅程と発句をたどり、風物に対する芭蕉のとらえ方や表現の仕方を理解する。</p>	<p>○『奥の細道』旅程図と芭蕉の発句を照らし合わせる。</p> <p>◎好きな発句を選び、その土地の歴史などを調べ、発表する。</p>	<p>【思】興味を持って土地の歴史などを調べ、工夫して発表している。[A(2)ウ・オ]</p>	行動観察 記述の確認
	2	<p>『去来抄』行く春を・岩鼻や</p> <p>●発句の一字一句の表現が大きな影響を与えることを理解する。</p> <p>●「風狂」という芭蕉の俳諧に重要な概念について考える。</p>	<p>○「行く春を」の句に対する尚白の非難と去来・芭蕉の見解を読み取る。</p> <p>○「岩鼻や」の句に対する去来、洒堂、芭蕉のそれぞれの解釈を読み取る。</p> <p>◎去来が「作者その心を知らざりけり。」と感じた理由を話し合う。</p>	<p>【知】発句の一字一句の違いによる表現の違いを理解している。[(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ]</p> <p>【思】各人の見解・解釈を読み取り、発句の表現を理解している。[A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]</p>	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
	1	『三冊子』 不易流行 ● 蕉風俳諧における「不易」「流行」とは何かを読み取る。 ● 臨終の病床について芭蕉の心境について考察する。	○ 本文から「不易」「流行」とはどのようなものであるかを読み取る。 ◎ 「俳諧いまだ俵口を解かず。」とする芭蕉の心境について話し合う。	【知】 発句の一字一句の違いによる表現の違いを理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ] 【思】 蕉風俳諧における「不易」「流行」とは何かを読み取っている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]	行動観察 記述の確認 定期考査
6 見 方 ・ 考 え 方 を 深 め る	1	『古今和歌集』 「仮名序」 やまと歌は ● 歌論の祖としての『古今和歌集』 「仮名序」 について知る。 ● 和歌の本質・効用、和歌の起源についての考え方を理解する。	○ 本文の内容を読み取る。 ◎ 和歌の本質と起源について、当時の歌人がどのように考えていたのかをまとめる。	【知】 『古今和歌集』 「仮名序」 について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)イ・ウ] 【思】 和歌の本質・効用、和歌の起源についての考え方を理解している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『無名抄』 深草の里 ● 作者と作品についての基礎知識を持つ。 ● 三つの歌を正しく理解する。 ● 和歌における余情・幽玄について理解する。	○ 『無名抄』、鴨長明についての知識を確認する。 ○ 俊成の自讃歌と世評の高い歌、俊恵の自讃歌の三つの歌を読み取る。 ◎ 俊恵が「み吉野の」の歌を自身の代表作とした理由を考え話し合う。	【知】 『無名抄』 の内容と作者について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)イ・ウ] 【思】 和歌における余情・幽玄と三人の考え方を理解している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『難波土産』 虚実皮膜の間 ● 近松の考えを正しく理解する。 ● 「虚実皮膜論」 を身近な問題に引き寄せて考察する。	○ 『難波土産』 についての知識を確認する。 ○ ある人の意見と近松の意見を読み取る。 ◎ 近松の「虚実皮膜論」 について、グループで話し合う。	【知】 『難波土産』 の内容について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)イ・ウ] 【思】 近松の「虚実皮膜論」 を理解している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	『玉勝間』 兼好法師が詞のあげつらひ ● 作者と作品についての基礎知識を持つ。 ● 兼好の考えとそれに対する作者の批判を読み取る。 ● 作者と兼好の考え方の違いを理解する。	○ 本文の内容を読み取る。 ◎ 作者と兼好の「みやび」 に対する考え方の違いを話し合う。	【知】 『玉勝間』、本居宣長について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)イ・ウ] 【思】 兼好と作者の考え方の違いを理解している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
7  古典 に 対 す る 考 え を 深 め る	2	<p>『古事記』須佐之男命の大蛇退治</p> <p>●『古事記』についての基礎知識をもつ。</p> <p>●上代の文学としての特徴を理解し、本文を読み取る。</p> <p>●上代の人のももの見方、考え方に触れる。</p>	<p>○『古事記』の作品の特徴についての知識を整理する。</p> <p>○上代の文章の特徴に注意して、本文を読み取る。</p> <p>◎「八俣の大蛇」が意味するものについて考察する。</p>	<p>【知】『古事記』の作品と内容について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)イ・ウ]</p> <p>【思】上代の文章の特徴を理解している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク]</p> <p>【思】自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(2)ア]</p>	<p>行動観察 記述の確認 定期考査</p>

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
漢文編（第一部）					
1  漢文に親しむ	3	<b>朝三暮四 漁父利 畏饅頭</b> ● 訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 身近な成語や格言の原文等の短文によって訓点のきまりについて理解する。 ● 出典を読むことで故事成語の意味を正しく理解し、笑話を読み比べ、漢文の文体や表現について学ぶ。	○ 漢字・漢文・訓読の基本知識を整理する。 ○ 漢字・漢文・訓読について知識を得、短文を読んでみる。 ◎ 故事成語の出典を調べて発表し合う。	<b>【知】</b> 漢文の訓読のきまりを理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ] <b>【思】</b> 漢文の短文の内容を理解し、自分の表現活動に応用している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア・オ・カ・キ]	行動観察 記述の確認 定期考査
2  人物像を読み取る	6	<b>『史記』 鴻門之会 四面楚歌 項羽の最期</b> ● 訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 司馬遷と『史記』についての基礎知識を持つ。 ● 登場人物の考え方・心情を理解する。 ● 『史記』の豊かな描写を鑑賞する。 ● 『史記』を出典とする故事成語について理解する。	○ 『史記』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○ 登場人物の考え方・心情を理解する。 ○ 『史記』の文学的な表現を読み味わう。 ◎ 配役を分担して朗読することで教材の理解を深める。 ◎ 故事成語の意味を調べる。 ◎ 登場人物の考え方や心情について話し合う。	<b>【知】</b> 『史記』の内容と作者について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ] <b>【思】</b> 朗読によって理解を深めたり、自分の意見を表現してグループで話し合ったりしている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
3  漢詩の世界を楽	7	<b>鹿柴・楓橋夜泊・望廬山瀑布・九月十三夜・涼州詞・月夜・送友人・送夏目漱石之伊予・桃夭・子夜呉歌・過故人莊・登高・飲酒・題老梅図</b> ● 訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 漢詩の形式を理解する。 ● 作者の人生観や心情を理解する。 ● 情景をふまえて的確に現代語訳する。	○ 押韻・対句など、漢詩の形式を理解する。 ○ 作者の人生観や心情を理解する。 ○ 的確な現代語訳をする。 ◎ 詩の風景を詩とともに描く。 ◎ 詩の内容についてグループで話し合う。	<b>【知】</b> 漢詩の形式と作者について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ] <b>【思】</b> 朗読によって理解を深めたり、詩についてグループで話し合ったりしている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
しむ	2	<b>言語活動『漢詩の句をつくってみよう』</b> ● 漢詩の句を作ることによって漢文に親しむ。 ● 近体詩の基本構造や平仄のルールを理解する。	○ 漢和辞典などを用いて平仄のルールを理解する。 ◎ 漢詩の句を作る。	<b>【知】</b> 漢詩の形式を理解している。 [(2)イ] <b>【思】</b> 漢詩の句を作ることができている。 [A(2)ウ]	行動観察 記述の確認
4 見 方 ・ 考 え 方 を 学 ぶ	4	<b>論語 子貢曰、「貧而無諂、富而無驕、何如。」</b> ／ <b>子貢問、「師与商也孰賢。」</b> ／ <b>子路問、「聞斯行諸。」</b> ／ <b>子貢問政。子曰、「足食、足兵、民信之矣。」</b> ／ <b>子路問君子。子曰、「修己以敬。」</b> <b>孟子 仁人心也、義人路也／不忍人之心</b> ● 訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 『論語』『孟子』についての基礎知識を持つ。 ● 『論語』を読み、学問・人生・人間・社会に対する考え方について理解する。 ● 孔子・孟軻の考え方と現代社会とのかわりについて考える。	○ 疑問・限定・比況・反語の句法を中心に訓読の基礎事項を蓄積する。 ○ 『論語』『孟子』についての知識を整理する。 ○ 孔子と孟軻の学問・人生・人間・社会に対する考え方を理解する。 ◎ 孔子と孟軻の学問・人生・人間・社会に対する考え方や、孔子の教育方法についてグループで話し合う。	<b>【知】</b> 孔子・孟軻の思想と、『論語』『孟子』の特色について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ] <b>【思】</b> 孔子・孟軻の学問・人生・人間・社会に対する考え方を理解し、それらについてグループで話し合っている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
5 社会について考える	3	<b>漁父辞 捕蛇者説</b> ● 受身、部分否定、限定、反語等訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 「辞」や「説」の文体の特色を理解する。 ● 登場人物の人生観を読み取る。 ● 時代背景や経歴を踏まえて作者の人間性や主張を把握する。	○ 屈原と「漁父辞」、柳宗元と「捕蛇者説」についての知識を整理する。 ○ 作品に込められた作者の思想を理解する。 ◎ 社会のあり方や社会との関わり方についてグループでディスカッションする。	<b>【知】</b> 「漁父辞」と「捕蛇者説」の内容について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ] <b>【思】</b> 作品に込められた思想を踏まえ、社会のあり方や社会との関わり方について自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
漢文編（第二部）					
1 漢文を味わう	4	<b>画竜点睛 刻舟求劍 先從隗始 所争在弓箭不在米塩</b> ● 訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 身近な成語やことわざの原文等の短文を読み訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 出典を読むことで故事成語の意味を正しく理解し、漢文の文体や表現について学ぶ。	○ 漢字・漢文・訓読の基本知識を整理する。 ○ 漢字・漢文・訓読について知識を得、短文を読んでもみる。 ◎ 故事成語の出典を調べて例文を作る。	<b>【知】</b> 漢文の訓読のきまりを理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ] <b>【思】</b> 漢文の短文の内容を理解している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア・オ・カ・キ]	行動観察 記述の確認 定期考査
2 人間関係を読み解く	4	<b>『十八史略』水魚之交 死諸葛走生仲達</b> ● 訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 『十八史略』についての基礎知識を持つ。 ● 登場人物の考え方・心情を把握する。 ● 人間の生き方について考察する。 ● 故事成語の意味と使い方を理解する。	○ 『十八史略』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○ 登場人物の考え方や心情を読み取り、作品の展開を理解する。 ◎ 登場人物の考え方や心情について話し合う。	<b>【知】</b> 『十八史略』の内容や表現、作者について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ] <b>【思】</b> 自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	<b>言語活動『史話の世界を演じてみよう』</b> ● 史話の世界を味わい、漢文に親しむ。 ● 「死諸葛走生仲達」の登場人物の生き方や考え方について考え、表現する。	○ 登場人物の考え方や心情を読み取る。 ◎ 脚本を作成し、それをもとに発表する。	<b>【思】</b> 文章を踏まえて登場人物の考え方や心情を読み取り、演じることでその解釈を表現する。 [A(1)ア・ウ (2)イ]	行動観察 記述の確認

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
3  人の 思い を 読 み 取 る	3	<b>長恨歌</b> ● 訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 漢詩の形式を理解する。 ● 作者の人生観や心情を理解する。 ● 内容と展開を踏まえて的確に現代語訳する。	○ 押韻・対句など、漢詩の形式を理解する。 ○ 作者の人生観や心情を理解する。 ○ 的確な現代語訳をする。 ◎ 全編の筋書きをまとめる。 ◎ 最後の二句がこの詩全体に与える効果について説明する。 ◎ 『源氏物語』において「長恨歌」がどう引用されているか整理する。	<b>【知】</b> 漢詩の形式と作者について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ] <b>【思】</b> 詩の筋書きをまとめることができ、白居易が日本文学に与えた影響について理解している。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
4  多 様 な 考 え 方 を 学 ぶ	8	<b>老子 無為 小国寡民 無用之用</b> <b>莊子 曳尾於塗中 夢為胡蝶 渾沌</b> <b>韓非子 侵官之害 二人説</b> ● 訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 『老子』『莊子』『韓非子』についての基礎知識を持つ。 ● 『老子』『莊子』『韓非子』を読み、人生や社会に対する考え方について理解する。 ● 老聃・莊周・韓非の考え方と自分たちの生活や現代社会とのかかわりについて考える。	○ 使役・否定・限定・詠嘆の句法を中心に訓読の基礎事項を蓄積する。 ○ 『老子』『莊子』『韓非子』についての知識を整理する。 ○ 老聃・莊周・韓非の人生や社会に対する考え方を理解する。 ◎ 老聃・莊周・韓非の人生や社会に対する考え方についてグループで話し合う。	<b>【知】</b> 老聃・莊周・韓非の思想と『老子』『莊子』『韓非子』の特色について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ] <b>【思】</b> 老聃・莊周・韓非の人生や社会に対する考え方を理解し、それらについてグループで話し合っている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア]	行動観察 記述の確認 定期考査



単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
5  社会との関わりを考える	4	<b>帰去来辞 師説</b> ● 反語・仮定・願望・詠嘆の句法等、訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 「辞」や「説」の文体の特色を比較しながら理解する。 ● 登場人物の人生観・社会観を読み取る。 ● 時代背景や経歴を踏まえて作者の主張を把握する。	○ 陶潜と「帰去来辞」、韓愈と「師説」についての知識を整理する。 ○ 作品に込められた作者の思想を理解する。 ◎ 社会との関わり方についてグループでディスカッションする。	<b>【知】</b> 「帰去来辞」と「師説」の内容や文章の特徴、読解に必要な訓読のきまりについて理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ (2)ア・イ・ウ] <b>【思】</b> 作品に表れた作者の考えを踏まえたうえで、社会との関わり方について自分の意見を表現し、話し合っている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア・エ]	行動観察 記述の確認 定期考査
6  未来を思いえがく	5	<b>人虎伝</b> ● 訓読の基礎知識を蓄積する。 ● 小説の特色を理解する。 ● 登場人物の心情を理解する。 ● 展開を踏まえて内容を把握する。	○ 作品の特徴についての知識を整理する。 ○ 登場人物の心情を読み取る。 ◎ 李徴の人物像をまとめる。 ◎ 李徴が虎になった理由をグループで話し合う。 ◎ 『人虎伝』の李徴と『山月記』の李徴との違いについてグループで話し合う。	<b>【知】</b> 漢文の小説の特徴を理解し、表現上の特色や作品の構成を踏まえて『人虎伝』の内容について理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ] <b>【知】</b> 日本の文化と中国の文化との関係について理解を深めている。 [(2)ア・イ] <b>【思】</b> 作品の内容を考察し多面的に評価したうえで自分の意見を表現し、グループで話し合っている。 [A(1)ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ・ク (2)ア・イ]	行動観察 記述の確認 定期考査